

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：35006

東月寒中

「学ぶ力」	
成果	課題
◇全国学力・学習状況調査の結果から、「授業で学んだことを次の学習や実生活に結び付けて考えたり活かしたりすることができる」や「分からないことや知りたいことがあったときに自分で学び方を考え工夫することができる」項目で8割を超え、全国平均を上回っている。日常的な形成的評価のフィードバックや学習支援、教育相談活動などの成果が表れていると考えている。	◇札幌市の共通指標の結果から、「自分で計画を立てて勉強している」や「分からないことはそのままにせず分かるまで努力している」の項目において、微増はあるものの肯定的な回答が少ない傾向が続いている。計画的に学習に取り組み、粘り強く続けられるようにさせたい。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
◇全国学力・学習状況調査の結果から、本校生徒の自己肯定感が高い傾向にあるが、意見の異なる他者を理解したり、学習面でわからないことに取り組んだりする粘り強さには課題があることがわかった。また、札幌市の共通指標の結果からは、「意見の違う人ともよく話し合おうとしている」の質問に対する肯定的回答が少ない傾向が続いている。このことから、継続して、協同的な活動を取り入れた授業づくりとその指導の充実を図り、相互に認め合い高めあう活動を通じて、相互承認の感度を高めていく取組を行っていく必要があると考えている。	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

自分が大切にされているという実感のもと、自ら学びを推し進める力

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自主的な活動の充実 に向けて
	◇イントロダクション→個別探究→協働探究→リフレクションのセルフチェックの活用と徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・「やってみたい」という気持ちが認められ見通しをもつことができるイントロダクション ・挑戦が可能な個別探究活動 ・他者との対話により思考が促される協働探究 ・自らの取組の価値を実感できるリフレクション 	◇自主的な生徒会活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発想やエネルギーを生かした活動 ・社会の一員としての学びと実感～本物の経験～が残る、充実したボランティア活動
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について		
<ul style="list-style-type: none"> ・取組成果の最大化と時間活用の有効化のリバランスを図るためのICT機器の活用を目指す ・複数のツールの中から適切なものを生徒自身が自ら選択できるような環境の整備を目指す 		

<本プログラムの実行に向けて>

